

# 第37回世田谷弓道選手権大会

【東京都スポーツ大会選手選考兼】



開催日 令和7年2月2日（日）

時 間 午前9時開場

場 所 世田谷区立総合運動場・弓道場

主 催	世田谷区弓道連盟
共 催	世田谷区 (公財) 世田谷区スポーツ振興財団

## 1 役員

### ① 大会役員

会長	田中 健二		
顧問	鬼塚 満寿彦	加藤 薫	
参与	平岡 賢	吉原 迅記	

### ② 大会委員長

田中 健二

### ③ 競技委員

競技委員長

田中 健二

審判長

山口 美智子

副審判長

熊谷 真理子

競技委員

(射場進行)	榎本 治男	田中 健二	山口 美智子	熊谷 真理子
(射場掲示)	橋本 直	土井 晴人	杉本 喜乃	坂井 幸代
(招集・場外進行)	高久 裕子	阿部 肇子	洲崎 仁志	楠瀬 裕一
(的前審判)	宮野 結斗	杉崎 良太	小谷 由美	小林 美佐子
(記録)	伊藤 亜希子	針谷 修子	森 利行	中道 衡貴
(記録PC)	齋藤 理恵	野田 雄馬		
(総務・会計)	土井 晴人	伊藤 亜希子	中道 衡貴	齋藤 理恵

## 2 実施要項

### ① 日時

令和7年2月2日(日) 午前9時開場、午前9時30分開始

※選手は、あらかじめ指定された時間に集合

### ② 会場

世田谷区立総合運動場内弓道場

### ③ 参加資格

区内在住・在勤・在学または当連盟加盟団体の会員

および関係団体、個人(募集要項の参加資格一覧表の記載通り)

### ④ 射 候

近的 立射 予選：4つ矢×1立(参加者多数のため当初の「1手+4つ矢」から変更)

決勝：4つ矢×1立

### ⑤ 種目

男子の部、女子の部

### ⑥ 競技方法

(1) 全日本弓道連盟弓道競技規則及び本大会実施要項による

(2) 予選 4射2中以上通過(参加者多数のため当初の「6射3中以上」から変更)

(3) 決勝 4射

### ⑦ 順位決定方法

決勝4つ矢2中以上の的中者により順位を決定する

優勝は原則として射詰競射とし、2位以下は遠近競射とする

※区内在住、在勤者の方は、本大会の成績を5月開催予定の東京都スポーツ大会

世田谷区代表選手選考の参考とさせていただきます

### ⑧ 表彰

(1) 各部毎に五位までの入賞者に表彰状授与

(2) 各部毎に五位までの入賞者に賞品授与

### ⑨ 参加費

一人500円

## 成績表

	男子の部	女子の部
(フリガナ) 優勝	ナカセ ユウスケ 中瀬 雄介	オカダ ユリ 岡田 優里
(フリガナ) 2位	ツカハラ ヒロタカ 塚原 洋剛	サトウ ユズネ 佐藤 柚音
(フリガナ) 3位	タナカ ミチヒロ 田中 亨拓	オグリ カエデ 小栗 かえで
(フリガナ) 4位	カンバヤシ ジュンダイ 神林 純大	アベ ケイコ 阿部 肇子
(フリガナ) 5位	ドイ ハルト 土井 晴人	ヤシマ ミクリ 八島 実玖莉

### 【男子の部】参加者 49名

予選で2中以上の決勝進出者は19人  
決勝で2中以上の的中者は15人  
その15人で射詰競射を行ったところ的中者は8人  
2回目の射詰競射を行ったところ的中者は2人  
2回目の射詰競射の失中者6人で4位、5位を決めるために遠近競射を行う  
2回目の射詰競射の的中者2人で優勝、2位を決めるために射詰競射を行う  
3回目の的中者は1人で優勝者が決定。失中者は2位  
その結果が以上です

### 【女子の部】参加者 83名

予選で2中以上の決勝進出者は22人  
決勝で2中以上の的中者は6人  
その6人で射詰競射を行ったところ的中者は3人  
2回目の射詰競射の失中者3人で4位、5位を決めるために遠近競射を行う  
2回目の射詰競射の的中者3人で優勝、2位、3位を決めるために射詰競射を行う  
3回目の的中者は1人で優勝者が決定  
3回目の射詰競射の失中者2人で2位、3位を決めるために遠近競射を行う  
その結果が以上です